



Sun™ Management Center 3.5 Sun Fire™、Sun Blade™ および Netra™ システムのための 追補マニュアル

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No. 817-5041-11
2004 年 3 月 Revision A

コメントの宛先: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2004 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品のの一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Fire, Sun Blade, Netra は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サン・ロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun™ Management Center 3.5 Supplement for the Sun Fire™, Sun Blade™ and Netra™ Systems
Part No: 817-3771-11
Revision 01



目次

はじめに	xi
マニュアルの構成	xi
書体と記号について	xii
シェルプロンプトについて	xii
関連マニュアル	xiii
Sun のオンラインマニュアル	xiv
サンの技術サポート	xiv
コメントをお寄せください	xiv
1. 概要	1
Sun Management Center 3.5	1
サポート対象のプラットフォーム	2
プラットフォームのアイコン	3
ハードウェアプラットフォームモジュール	4
ブラウザビュー	4
物理コンポーネント	5
デバイス情報	6
環境センサ	6
論理ビュー	6
物理ビュー	7

アラーム	10
2. インストール	11
Sun Management Center 3.5 ソフトウェア	11
Sun Management Center 3.5 Update 1 CD からのインストール	12
Web アーカイブからのインストール	13
追加ソフトウェアの入手	13
インストールの準備	14
Sun Management Center サーバー	14
インストールと構成	14
GUI 設定	15
インストールの概要	15
既存のハードウェアプラットフォームモジュールの削除	18
▼ 既存の 3.5 パッケージをサーバーから削除する	18
▼ 既存の 3.5 パッケージをエージェントから削除する	20
ハードウェアプラットフォームモジュールのインストール	22
▼ Sun Management Center エージェントコンポーネントをインストールおよび設定する	22
▼ Sun Management Center サーバーソフトウェアをインストールする	25
エージェント更新イメージの作成とインストール	27
3. 物理プロパティと論理プロパティ	29
システムのプロパティ	30
物理コンポーネントのプロパティ	31
共通プロパティ	31
ファン	34
電源装置	34
拡張カード	35
メモリモジュール	36

その他の物理コンポーネント	37
場所	37
論理デバイスのプロパティ	38
プロセッサ	40
メディアデバイス	40
ネットワークインタフェース	41
インジケータ	42
その他のデバイス	42
環境センサのプロパティ	43
数値センサ	44
非数値センサ	44
4. アラーム	47
概要	47
動作状態の規則	48
可用性の規則	49
非数値センサの規則	49
数値センサのしきい値の規則	50
占有状態の規則	50
率またはカウントの規則	51
モジュールのステータスの規則	51
インジケータ状態の規則	52
A. PCI カード	53
B. プラットフォーム固有の情報	55
Sun Fire V210 および V240 サーバー	56
Sun Fire V250 サーバー	57
Sun Fire V440 サーバー	57
Sun Blade 1500 および 2500 ワークステーション	58

図目次

- 図 1-1 サポート対象のプラットフォームのアイコンを表示するドメインビュー 3
- 図 1-2 物理コンポーネント、デバイス情報および環境センサが表示された Sun Fire V250 のブラウザビュー 5
- 図 1-3 Sun Fire V250 論理ビューのセクション 7
- 図 1-4 Sun Fire V250 物理ビュー — 正面 8
- 図 1-5 Sun Fire V250 物理ビュー — 背面 9
- 図 2-1 インストール手順のフロー 17
- 図 3-1 物理コンポーネントの「場所」と「説明」の列 (Sun Fire V250 の場合) 32
- 図 3-2 インジケータを表す論理デバイステーブルの一部 (Sun Fire V250 の場合) 38
- 図 3-3 数値電圧センサテーブルと電圧しきい値センサテーブル (Sun Fire V250 の場合) 43

表目次

表 2-1	必要なソフトウェアバージョン	12
表 3-1	システム情報テーブルのプロパティ	30
表 3-2	動作状態の値	33
表 3-3	ファンテーブルのプロパティ	34
表 3-4	電源装置テーブルのプロパティ	34
表 3-5	拡張カードテーブルのプロパティ	35
表 3-6	メモリモジュールテーブルのプロパティ	36
表 3-7	その他の物理コンポーネントテーブルのプロパティ	37
表 3-8	その他の物理コンポーネントテーブルのプロパティ	37
表 3-9	プロセッサテーブルのプロパティ	40
表 3-10	メディアデバイステーブルのプロパティ	40
表 3-11	ネットワークインタフェーステーブルのプロパティ	41
表 3-12	インジケータテーブルのプロパティ	42
表 3-13	その他のデバイステーブルのプロパティ	42
表 3-14	数値センサテーブルのプロパティ	44
表 3-15	非数値センサテーブルのプロパティ	44
表 4-1	動作状態の規則	48
表 4-2	可用性の規則	49
表 4-3	非数値センサの規則	49
表 4-4	数値センサのしきい値の規則	50

表 4-5	占有状態の規則	50
表 4-6	率またはカウントの規則	51
表 4-7	モジュールのステータスの規則	51
表 4-8	インジケータ状態の規則	52
表 A-1	サポートされる PCI カード	53
表 B-1	共通ハードウェアプラットフォームモジュールパッケージ	55
表 B-2	Sun Fire V210 および V240 のプラットフォーム固有のパッケージ	56
表 B-3	Sun Fire V250 のプラットフォーム固有のパッケージ	57
表 B-4	Sun Fire V440 のプラットフォーム固有のパッケージ	57
表 B-5	Sun Blade 1500 および 2500 のプラットフォーム固有のパッケージ	58

はじめに

『Sun Management Center 3.5 Sun Fire、Sun Blade および Netra システムのための追補マニュアル』では、サポート対象のプラットフォームに Sun Management Center ソフトウェアをインストールして構成し、使用方法について説明します。この追補マニュアルは、Sun Management Center 3.5 ソフトウェアをインストールして、これらのサーバーおよびワークステーションの監視や管理に使用するシステム管理者を対象としています。

注 – Sun Fire エントリーレベルサーバー、NEBS 認定サーバー、および Sun Blade ワークステーションは、Sun Fire V210、V240、V250、V440 に先行して導入されました。Sun Blade 1500 および 2500 は、Sun Management Center 3.5 Netra サーバー用の追補ソフトウェア、Sun Management Center 3.5 ワークグループサーバー用の追補ソフトウェア、および Sun Management Center 3.5 ワークステーション用の追補ソフトウェアで引き続きサポートされます。

マニュアルの構成

第 1 章では、サポート対象のプラットフォーム用の Sun Management Center ソフトウェアについて説明します。

第 2 章では、サポート対象のプラットフォームに Sun Management Center ソフトウェアをインストールして設定する一般的な方法について説明します。この章と併せて『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』を参照してください。

第 3 章では、「詳細」ウィンドウに表示されるデータについて説明します。

第 4 章では、サポート対象のプラットフォームのコンポーネントで使用するアラーム規則について説明します。

付録 A では、この製品での PCI カードのサポートレベルについて説明します。

付録 B では、プラットフォーム固有のパッケージとマニュアルに関する情報を示します。

書体と記号について

書体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を実行します。 <code>% You have mail.</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	マシン名% <code>su</code> Password:
AaBbCc123 またはゴシック	コマンド行の変数部分。実際の名前や値と置き換えてください。	<code>rm filename</code> と入力します。 <code>rm ファイル名</code> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅をこえる場合に、継続を示します。	% <code>grep `^#define \ XV_VERSION_STRING`</code>

シェルプロンプトについて

シェル	プロンプト
UNIX の C シェル	マシン名%
UNIX の Bourne シェルと Korn シェル	\$
スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)	#

関連マニュアル

用途	タイトル	Part No.
Sun Management Center 3.5 ソフトウェアのインストールと 構成	『Sun Management Center 3.5 インストールと 構成ガイド』	817-3019
Sun Management Center 3.5 ソフトウェアの使用	『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』	817-3024
Sun Fire V210 および V240 プラットフォーム	『Sun Fire V210 および V240 サーバー設置 マニュアル』	817-1431
	『Sun Fire V210 および V240 サーバー管理 マニュアル』	817-1441
Sun Fire V250 プラットフォーム	『Sun Fire V250 Server Installation Guide』	817-0899
	『Sun Fire V250 Server Administration Guide』	817-0900
Sun Fire V440 プラットフォーム	『Sun Fire V440 サーバー設置マニュアル』	817-2806
	『Sun Fire V440 サーバー管理マニュアル』	817-2815
	『Sun Fire V440 サーバー診断および障害追跡 の概要』	817-2869
Sun Blade 1500 および 2500 プラットフォーム	『Sun Blade 1500 ご使用にあたって』	817-0785
	『Sun Blade 1500 Service, Diagnostics and Troubleshooting Manual』	816-7564
	『Sun Blade 2500 ご使用にあたって』	817-0623
	『Sun Blade 2500 Service, Diagnostics and Troubleshooting Manual』	816-0996

その他の関連マニュアルのリストについては、次の Sun Management Center Web サイトにある『Sun Management Center 3.5 Software Release Notes』(英語)を参照してください。

<http://www.sun.com/software/solaris/sunmanagementcenter>

Sun のオンラインマニュアル

各言語対応版を含むサンの各種マニュアルは、次の URL から表示、印刷または購入できます。

<http://www.sun.com/documentation>

サンの技術サポート

この製品に関する技術的な質問については、このマニュアルでは扱っていません。以下の Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.sun.com/service/contacting>

コメントをお寄せください

弊社では、マニュアルの改善に努力しており、お客様からのコメントおよびご忠告をお受けしております。コメントは下記宛に電子メールでお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

電子メールの表題にはマニュアルの Part No. (817-3771-11) とタイトル (『Sun Management Center 3.5 Supplement for the Sun Fire, Sun Blade and Netra Systems』) を記載してください。

なお、現在日本語によるコメントには対応できませんので、英語で記述してください。

第1章

概要

この章では、サポート対象のプラットフォームに関連する Sun Management Center 3.5 の概要を説明します。

この章は以下の節で構成されています。

- 1 ページの「Sun Management Center 3.5」
- 3 ページの「プラットフォームのアイコン」
- 4 ページの「ハードウェアプラットフォームモジュール」
- 10 ページの「アラーム」

Sun Management Center 3.5

Sun Management Center 3.5は、Java と SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) の一種を使用したオープンで拡張可能なシステム監視および管理のソリューションであり、サンの製品とそれらのサブシステム、コンポーネント、および周辺機器に対するエンタープライズ全体での統合化された総合的な管理を可能にします。

『Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド』では、Sun Management Center のアーキテクチャーを明確に示す定義、説明、および図を記載しています。コンソール、サーバー、エージェント、ドメイン、およびモジュール間の対話の詳細については、このマニュアルを参照してください。

Sun Management Center 環境内のハードウェア監視のサポートは、適切なハードウェアプラットフォームモジュールを使用することにより実現されます。ハードウェアプラットフォームモジュールは、ハードウェア構成および障害報告の情報を Sun Management Center 管理サーバーとコンソールに提供します。

サポート対象のプラットフォーム

このマニュアルには、Sun Management Center 3.5 Sun Fire、Sun Blade および Netra システム用の追補ソフトウェアに関連する情報が記載されています。このハードウェアプラットフォームモジュールでは、現在以下のプラットフォームをサポートしています。

- Sun Fire V210 サーバー
- Sun Fire V240 サーバー
- Sun Fire V250 サーバー
- Sun Fire V440 サーバー
- Sun Blade 1500 ワークステーション
- Sun Blade 2500 ワークステーション

注 - このマニュアルは、Sun Fire エントリーレベルサーバー、NEBS 認定サーバー (*Netra* サーバー)、および Sun Blade ワークステーションが追加サポートされたときには更新されます。

プラットフォームのアイコン

Sun Management Center のグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) では、プラットフォームがアイコンで表示されます。監視対象プラットフォームごとに、プラットフォームエージェントのアイコンが表示されます。

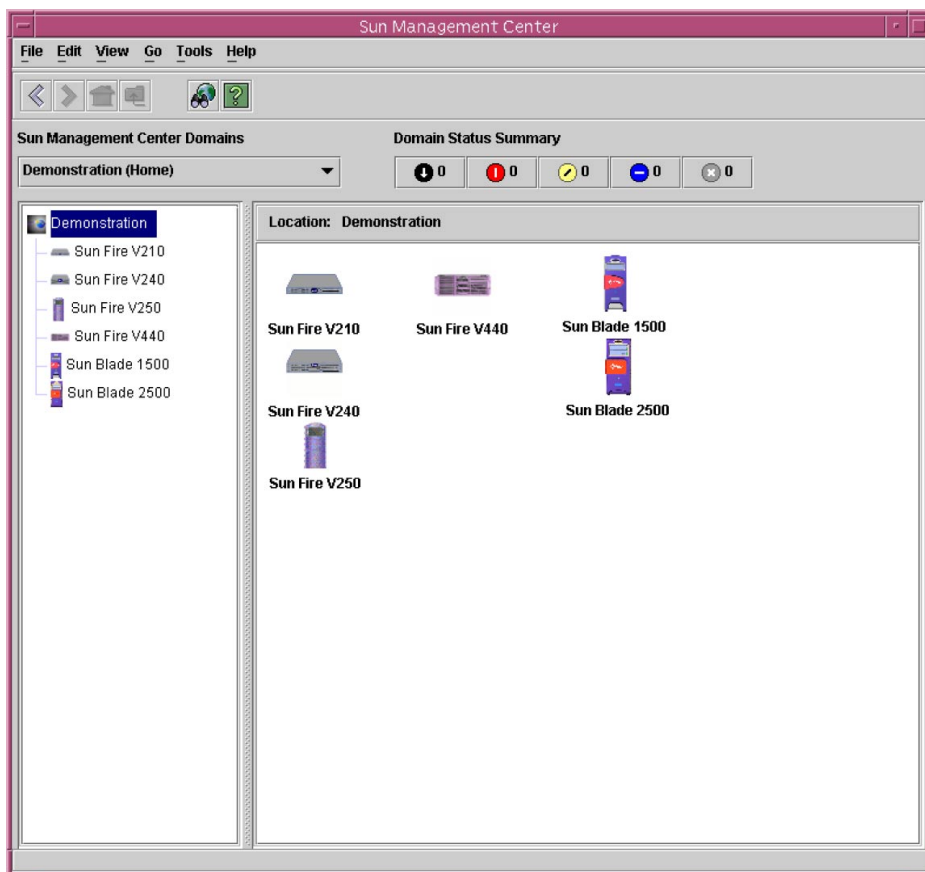


図 1-1 サポート対象のプラットフォームのアイコンを表示するドメインビュー

これらのアイコンを展開してプラットフォームの詳細を表示することができます。Sun Management Center 3.5 で詳細ビューが起動され、Sun Management Center 3.5の監視および制御に使用する従来のモジュールに加えて、ハードウェアプラットフォームモジュールが表示されます。

ハードウェアプラットフォームモジュール

ハードウェアプラットフォームモジュールは監視対象ハードウェアを示し、以下のビューを表示します。

- ブラウザビュー
- 論理ビュー
- 物理ビュー

注 - ハードウェアプラットフォームモジュールは、「Config Reader (構成リーダー)」または「プラットフォームアドオン」と呼ばれることもあります。

ブラウザビュー

ブラウザビューでは、プラットフォームのハードウェアに関する情報が、さまざまな物理コンポーネントおよび論理コンポーネントを示す表形式で表示されます。

ブラウザビューでは、次に示す 3 つの主なカテゴリにハードウェア構成が表示されます。

- 物理コンポーネント
- デバイス情報
- 環境センサ

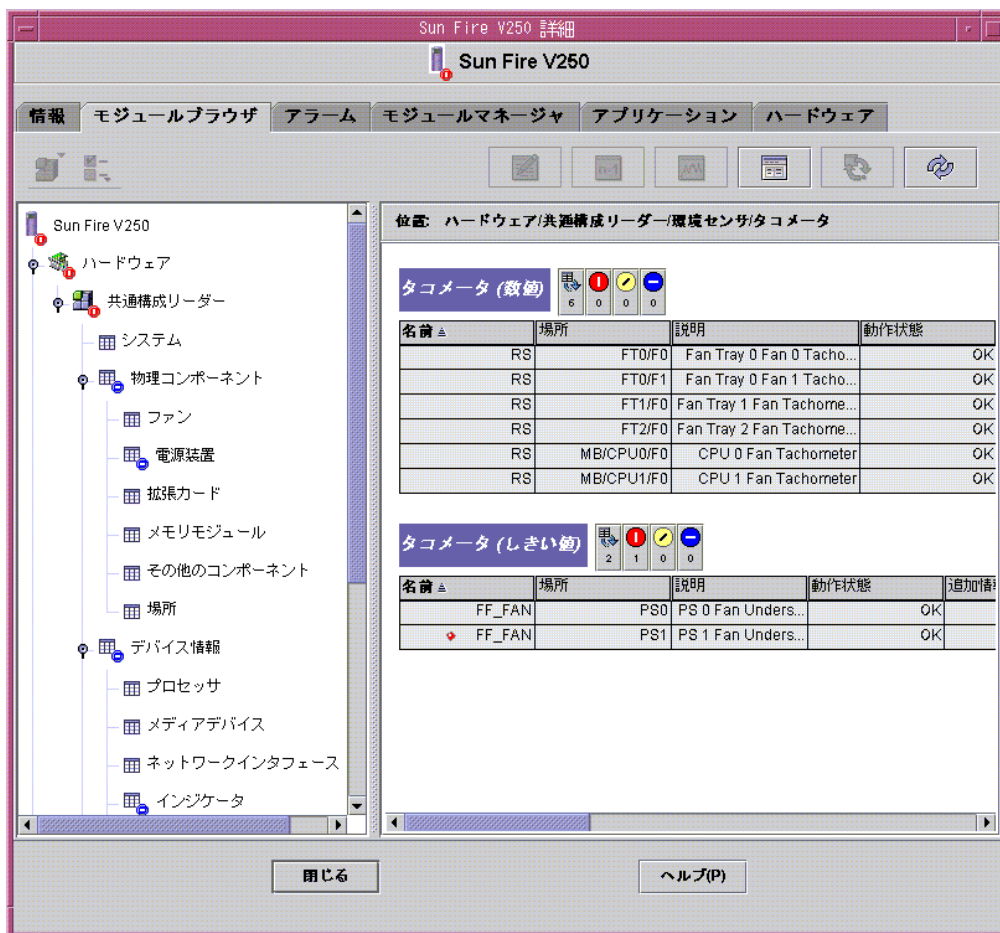


図 1-2 物理コンポーネント、デバイス情報および環境センサが表示された Sun Fire V250 のブラウザビュー

物理コンポーネント

物理コンポーネントは物理空間を占有し、ファン、電源装置、シャーシなどが含まれます。ブラウザビューでは、すべての物理コンポーネントに共通する基本的なプロパティのセット (パーツ番号、シリアル番号など) と、適切に定義された追加のプロパティを使用して、各物理コンポーネントが表示されます。

デバイス情報

デバイスはプラットフォームを構成する論理デバイスを表します。たとえば、CPU モジュールに 1 つ以上のプロセッサコアが含まれる場合があります。この場合、CPU モジュールはブラウザで 1 つの物理コンポーネントとして表されますが、プロセッサコアはブラウザビューで別々のデバイスとして表されます。

ブラウザビューでは、すべてのデバイスに共通する基本的なプロパティのセットを使用して、各デバイスが表されます。追加のプロパティを定義することにより共通セットは適切に拡張されます。たとえば、*speed* はネットワークインタフェースを定義する追加プロパティです。

環境センサ

ブラウザでは、プラットフォームのさまざまな環境センサが個別のカテゴリとして表されます。環境センサには、電圧、電流、温度、ファン速度などのセンサがあります。次の 2 つのクラスのセンサがサポートされています。

- 数値センサ
- 非数値センサ

43 ページの「環境センサのプロパティ」に、さまざまなテーブルと列の詳細を示します。

論理ビュー

論理ビューのツリー構造の各ノードは、ブラウザビューにある 1 つのテーブルの 1 つの行に相当します。ツリーの最上位はシステムオブジェクトです。親子の関係を使用してプラットフォームの物理的な包含階層が示されます。システムオブジェクトの子は一連の場所を表し、それぞれが 1 つの物理コンポーネントを含みます。物理コンポーネントの子は、物理デバイスまたは論理デバイスを示す場所か、それらのデバイスを監視する環境センサを表します。

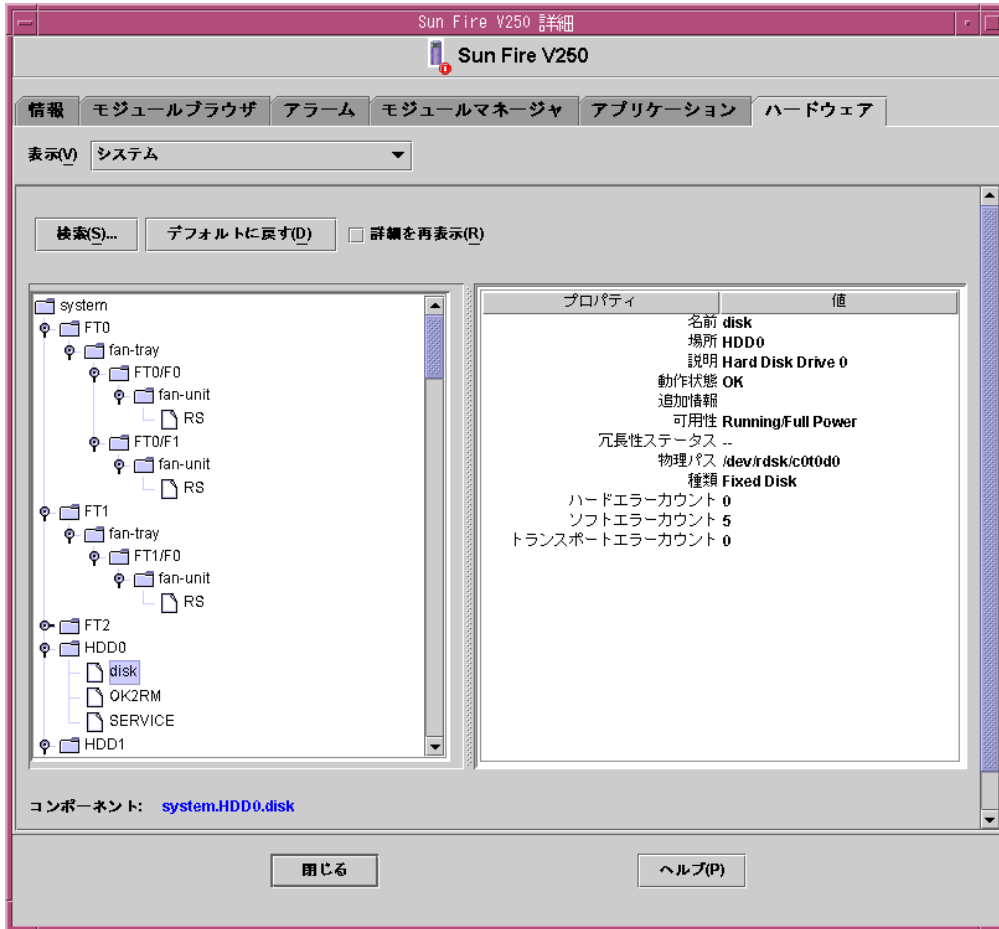


図 1-3 Sun Fire V250 論理ビューのセクション

物理ビュー

物理ビューは、プラットフォームの映像 (正面、背面、上部など) によって表されます。映像によって、物理コンポーネントまたは論理コンポーネントのテーブルに示された個々の物理コンポーネントまたは論理コンポーネントや、視認可能な LED を選択できるようになります。物理的な画像の上にマウスを動かすと、右側のパネルにノード情報を表示できます。

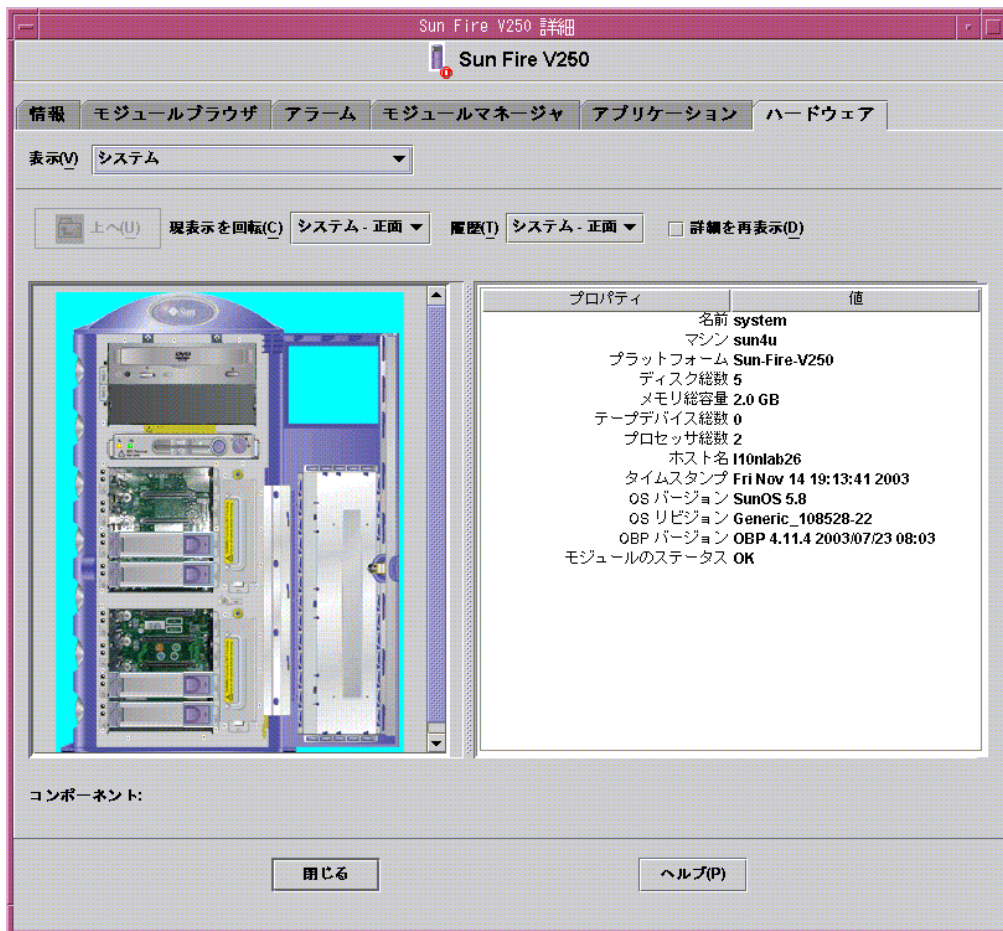


図 1-4 Sun Fire V250 物理ビュー — 正面

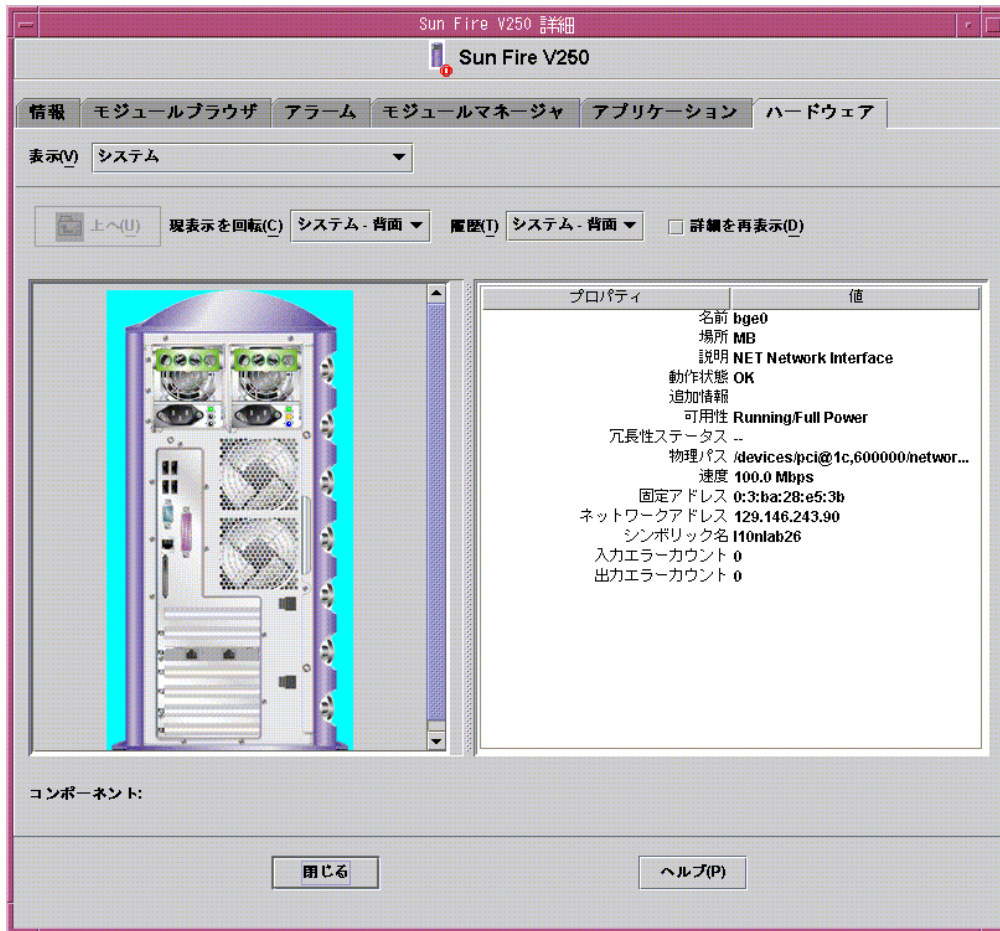


図 1-5 Sun Fire V250 物理ビュー — 背面

アラーム

ハードウェアプラットフォームモジュールには、さまざまなコンポーネントの状態を判断するためにシステムが使用するいくつかのアラーム規則が組み込まれています。各アラーム規則は、ハードウェアプラットフォームモジュールにあるテーブルの特定のプロパティに適用されます。さまざまなアラームの詳細については、第 4 章で説明します。

第2章

インストール

この章では、2 ページの「サポート対象のプラットフォーム」に示したプラットフォームに Sun Management Center 3.5 ソフトウェアをインストールして設定する方法について説明します。

この章は以下の節で構成されています。

- 11 ページの「Sun Management Center 3.5 ソフトウェア」
- 12 ページの「Sun Management Center 3.5 Update 1 CD からのインストール」
- 13 ページの「Web アーカイブからのインストール」
- 14 ページの「インストールの準備」
- 14 ページの「インストールと構成」

Sun Management Center 3.5 ソフトウェア

Sun Management Center 3.5 ソフトウェアの内容は次のとおりです。

- Sun Management Center コアコンポーネント
- 付加価値ソフトウェア
- ハードウェアプラットフォームモジュール
- インテグレーションアダプタ

『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』では、Sun Management Center 3.5 コアコンポーネントのインストールと設定およびソフトウェアの起動と停止に関する基本情報を記載しています。付加価値ソフトウェアとインテグレーションアダプタについては、次の Sun Management Center Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/solaris/sunmanagementcenter>

各プラットフォームをサポートするには、監視対象のプラットフォーム用の Sun Management Center 3.5 コアパッケージと追加パッケージが必要です。この製品のリリースでは、Sun Management Center 3.5 コアパッケージとは別に追加パッケージを入手できます。

表 2-1 は、Sun Management Center 3.5 を監視対象プラットフォームにインストールする場合に必要な固有のソフトウェアバージョンを示しています。

Sun Management Center 3.5 のインストールと設定のスクリプトを使用する場合、表示されるメッセージの内容と順序は、この章に示す例と異なる場合があります。この章の例では、表示されるメッセージの基本的な内容とメッセージが表示されるおおよその順序を示しています。

インストールする追加コンポーネントやその他の選択肢に依存するインストールと設定のスクリプトがあります。

表 2-1 必要なソフトウェアバージョン

ホスト	必要なソフトウェア	バージョン
Sun Management Center サーバー	Solaris オペレーティング環境	8、9
	Sun Management Center	3.5
	ハードウェアプラットフォーム モジュールパッケージ	プラットフォーム固有 (付録 B を参照)
監視対象のプラットフォーム	Solaris オペレーティング環境	*
	Sun Management Center*	3.5
	ハードウェアプラットフォーム モジュールパッケージ	プラットフォーム固有 (付録 B を参照)

* Solaris オペレーティング環境はサポート対象のプラットフォームに応じて異なります。各プラットフォームでのサポート対象の Solaris バージョンの詳細については、プラットフォームのマニュアルを参照してください。

この章で説明するインストール手順によって、共通パッケージとプラットフォーム固有のパッケージが自動的にインストールされます。

Sun Management Center 3.5 Update 1 CD からのインストール

この、Sun Management Center 3.5 Sun Fire、Sun Blade および Netra システムのための追加ソフトウェアは、Sun Management Center 3.5 ソフトウェア Update 1 にその一部として含まれています。また、この追加ソフトウェアは、Sun Management

Center 3.5 の初期のディストリビューションのために個別にweb ダウンロードして利用することができます。また今後のアップデート版も web ダウンロードすることができます。

Sun Management Center 3.5 Update 1 のインストールの一部としてこの追加ソフトウェアをインストールする方法の詳細については、『Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』(Part No. 817-3019) を参照してください。第 6 章の「Sun Management Center 3.5 のインストールと設定」で説明されている手順に従います。87 ページの手順 13 で、インストールするアドオンソフトウェアを選択する際に、「ELP Config-Reader Monitoring」を選択するとインストールされます。

Web アーカイブからのインストール

この章での以降の説明は、この追加ソフトウェアの web ダウンロード版を個別にインストールする場合にだけ適用されます。

追加ソフトウェアの入手

パッケージは `symon_elsw_<ver>.tar.Z` という名前のアーカイブバンドルで提供されます。<ver> はバージョン番号を表します。このマニュアルの作成時点でのバージョンは <b1.3> ですが、インストール時には最新バージョンを使用する必要があります。

この tar 圧縮形式ファイルは次の場所からも入手できます。

<http://www.sun.com/software/solaris/sunmanagementcenter/get.html>

注 - 将来的には、お使いの Solaris のバージョン、ダウンロードした Sun Management Center のバージョン、およびこの製品のバージョンに応じて、ファイル名の一部が変更される可能性があります。

インストールの準備

管理ソフトウェアをインストールするには、お使いの環境が特定の要件を満たしている必要があります。この節では、これらの要件について説明します。

Sun Management Center サーバー

Sun Management Center 3.5 ソフトウェアをインストールするには、Sun Management Center サーバーにするサーバーを決定する必要があります。サーバーの使用可能メモリ容量は、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』(Part No. 817-3019)の要件を満たしている必要があります。

Sun Management Center サーバーが停止すると、Sun Management Center ソフトウェアを使用したシステムの管理はできません。サーバー要件の詳細については、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』(Part No. 817-3019)を参照してください。

インストールと構成

注 – サポート対象のプラットフォームをサポートするために既存の Sun Management Center 3.5 を拡張する場合、Sun Management Center コアパッケージを再インストールする必要はありません。

注 – このマニュアルでは、Sun Management Center 3.5 コア製品のインストールと構成の処理については説明していません。コアソフトウェアのインストールと設定については、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』を参照してください。このマニュアルで指定しているパッケージをインストールする前に、Sun Management Center 3.5 をアップグレードしてください。

インストール手順を簡略化するため、インストール開始前に、手元に次の情報が用意されていることを確認してください。

- Sun Management Center サーバーの名前
- 監視対象プラットフォームの名前とエージェントのポート番号

サポート対象プラットフォームの以前のバージョンのハードウェアプラットフォームモジュールをすでにインストールしている場合は、新しいバージョンをインストールする前に、以前のバージョンのパッケージを削除する必要があります。

インストールスクリプトの実行方法は、従来のインストールスクリプト、`es-inst` を使用する方法と、GUI インストール機能である `es-guiinst` を使用する方法の 2 通りあります。選択したインストール方法によって、その後に自動実行される設定スクリプトが変わります。たとえば、インストールに GUI インストールプログラムを使用した場合、デフォルトで `es-guisetup` が実行されます。

注 – Sun Management Center パッケージはプラットフォーム固有のパッケージとは異なる方法で処理されます。このインストールプログラムでは **Sun Management Center** パッケージは自動アップデートされません。コアパッケージをアップデートするには、サポート対象のプラットフォームの『ご使用にあたって』の説明に従って適切なパッチを適用する必要があります。

Sun Management Center 3.5 コアソフトウェアのインストール手順については、**Sun Management Center 3.5** のメディアまたは **Sun Management Center 3.5** の次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/sunmanagementcenter>

GUI 設定

GUI 設定アプリケーションは **Sun Management Center** の新機能です。このアプリケーションでは、GUI を通してサポート対象のプラットフォームの追加ソフトウェアを設定することができます。GUI 設定アプリケーションの詳細については、『**Sun Management Center 3.5 ユーザーガイド**』および『**Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド**』を参照してください。

インストールの概要



1. 必要な場合は、**Sun Management Center** サーバーおよびエージェントの **Sun Management Center 3.0** と追加ソフトウェアをアンインストールします。

詳細については、18 ページの「既存のハードウェアプラットフォームモジュールの削除」を参照してください。



2. 必要な場合は、**Sun Management Center** サーバーおよびエージェントの **Sun Management Center** ソフトウェアをバージョン 3.5 にアップグレードします。

詳細については、『**Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド**』(Part No. 817-3019) を参照してください。



3. 必要な場合は、Sun Management Center サーバーおよびエージェントにすでにインストールされているバージョン 3.5 の追加ソフトウェアをアンインストールします。
詳細については、18 ページの「既存のハードウェアプラットフォームモジュールの削除」を参照してください。



4. 必要な場合は、Sun Management Center コンソールとして使用するシステムに Sun Management Center 3.5 ソフトウェアをインストールします。
詳細については、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』(Part No. 817-3019) を参照してください。



5. Sun Management Center サーバーに Sun Management Center 3.5 サーバーソフトウェアと追加ソフトウェアをインストールします。
Sun Management Center 3.5 サーバーのコアソフトウェアのインストール方法の詳細については、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』を参照してください。

追加サーバーソフトウェアのインストール方法については、25 ページの「Sun Management Center サーバーソフトウェアをインストールする」を参照してください。



6. 監視対象プラットフォームに Sun Management Center 3.5 エージェントソフトウェアおよび追加エージェントソフトウェアをインストールします。
Sun Management Center 3.5 エージェントのコアソフトウェアのインストール方法の詳細については、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』(Part No. 817-3019) を参照してください。

追加エージェントソフトウェアのインストール方法については、22 ページの「Sun Management Center エージェントコンポーネントをインストールおよび設定する」を参照してください。

インストール手順全体のフローについては、図 2-1 を参照してください。

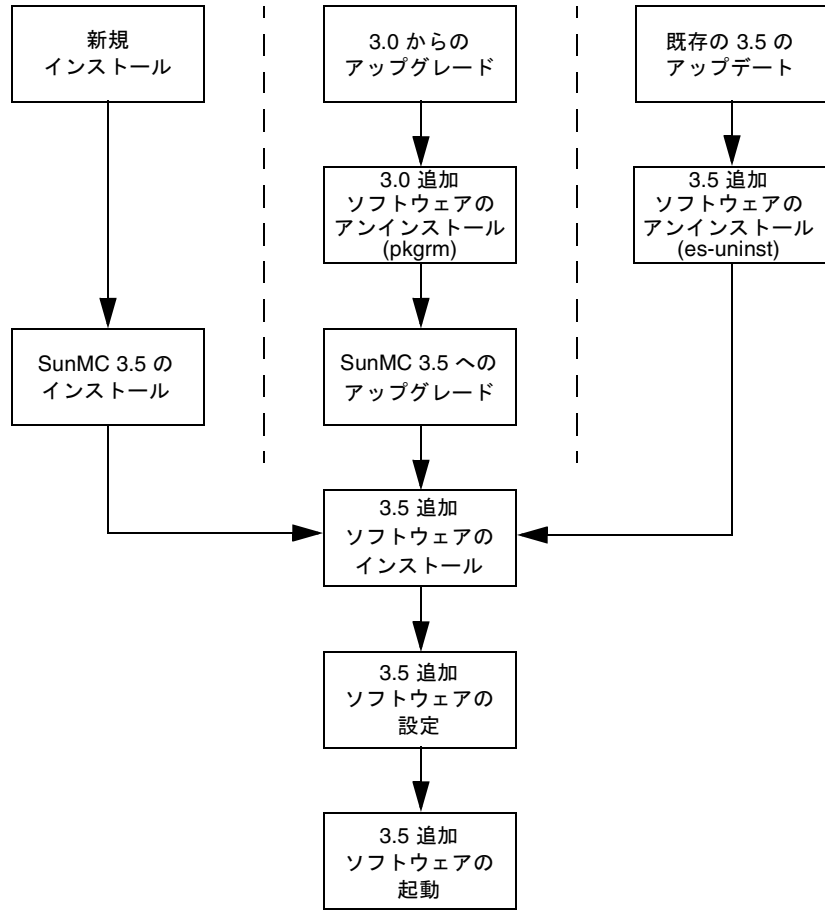


図 2-1 インストール手順のフロー

既存のハードウェアプラットフォームモジュールの削除

新しいモジュールパッケージをインストールする前に、サーバーから以前のバージョンのパッケージをすべて削除する必要があります。

各ハードウェアに適したプラットフォーム固有の Sun Management Center 3.5 パッケージについては、55 ページの「プラットフォーム固有の情報」を参照してください。

古い 3.0 の追加ソフトウェアがインストールされている場合は、最初にそれを手動で完全に削除する必要があります。詳細については、『Sun Management Center 3.0 Supplement for Sun Fire, Sun Blade and Netra Systems』(Part No. 817-1007) を参照してください。

▼ 既存の 3.5 パッケージをサーバーから削除する

1. es-uninst コマンドを使用して、インストールされているすべてのプラットフォーム固有の Sun Management Center サーバーパッケージを削除します。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-uninst
```

```
This script will help you to uninstall the Sun Management Center software.
```

```
Following Sun Management Center Products are installed:
```

```
-----  
PRODUCT                                DEPENDENT PRODUCTS  
-----  
Production Environment                 All Addons  
Sun Fire Platform Administration       None  
ELP Config-Reader Monitoring           None
```

```
Do you want to uninstall Production Environment (y|n|q) n
```

```
Do you want to uninstall Sun Fire Platform Administration (y|n|q) n
```

```
Do you want to uninstall ELP Config-Reader Monitoring (y|n|q) y
```



```

The following product[s] will be removed:
  ELP Config-Reader Monitoring.

Do you want to change selection (y|n|q) n

Select Save Data to save all user and configuration data. Your data is
saved and can be restored when you re-install Sun Management Center.
Do you want to preserve data (y|n|q) n

Proceed with uninstall (y|n|q) y

java server is not running

Calling Uninstall script of ELP Config-Reader Monitoring...
Making list of packages to uninstall...
Sorting list of packages according to reverse timestamp...

Removing package : SUNWescws...

Removal of <SUNWescws> was successful.

Removing package : SUNWescps...

Removal of <SUNWescps> was successful.

Removing package : SUNWeschs...

Removal of <SUNWeschs> was successful.

Removing package : SUNWescfs...

Removal of <SUNWescfs> was successful.

Removing package : SUNWescs...

Removing package : SUNWesci...

Removal of <SUNWesci> was successful.

Status of uninstallation:
-----
PRODUCT                                STATUS
-----
ELP Config-Reader Monitoring            Removed

Uninstall logfile is :
/var/opt/SUNWsymon/install/uninstall_reboot.030701153157.3517
#

```

▼ 既存の 3.5 パッケージをエージェントから削除する

1. es-uninst コマンドを使用して、すべてのプラットフォーム固有のエージェントパッケージを削除します。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-uninst
This script will help you to uninstall the Sun Management Center software.

Following Sun Management Center Products are installed:
-----
-
PRODUCT                                DEPENDENT PRODUCTS
-----
-
Production Environment                  All Addons
Sun Fire Platform Administration        None
ELP Config-Reader Monitoring           None

Do you want to uninstall Production Environment (y|n|q) n
Do you want to uninstall Sun Fire Platform Administration (y|n|q) n
Do you want to uninstall ELP Config-Reader Monitoring (y|n|q) y

The following product[s] will be removed:
  ELP Config-Reader Monitoring.

Do you want to change selection (y|n|q) n
Select Save Data to save all user and configuration data. Your data is
saved and can be restored when you re-install Sun Management Center.
Do you want to preserve data (y|n|q) n

Proceed with uninstall (y|n|q) y

chown: unknown group id smcorag
Stopping all Sun Management Center processes. This may take a few moments...
agent component is not running
platform component is not running
```

```
Calling Uninstall script of ELP Config-Reader Monitoring...
Making list of packages to uninstall...
Sorting list of packages according to reverse timestamp...
```

```
Removing package : SUNWescwa...
```

```
Removal of <SUNWescwa> was successful.
```

```
Removing package : SUNWescpl...
```

```
Removal of <SUNWescpl> was successful.
```

```
Removing package : SUNWescpa...
```

```
Removal of <SUNWescpa> was successful.
```

```
Removing package : SUNWeschl...
```

```
Removal of <SUNWeschl> was successful.
```

```
Removing package : SUNWescha...
```

```
Removal of <SUNWescha> was successful.
```

```
Removing package : SUNWescfl...
```

```
Removal of <SUNWescfl> was successful.
```

```
Removing package : SUNWescfa...
```

```
Removal of <SUNWescfa> was successful.
```

```
Removing package : SUNWesccli...
```

```
Removal of <SUNWesccli> was successful.
```

```
Removing package : SUNWescda...
```

```
Removal of <SUNWescda> was successful.
```

```
Removing package : SUNWescdl...
```

```
Removal of <SUNWescdl> was successful.
```

```
Removing package : SUNWescqa...
```

```
Removal of <SUNWescqa> was successful.
```

```
Status of uninstallation:
```

```
-----  
PRODUCT                                STATUS  
-----  
ELP Config-Reader Monitoring           Removed
```

```
Uninstall logfile is :
```

```
/var/opt/SUNWsymon/install/uninstall_enxs07.030701160035.8064
```

ハードウェアプラットフォームモジュールのインストール

この項では、サポート対象のプラットフォームへの Sun Management Center 3.5 ソフトウェアのインストールと構成の手順について説明します。

▼ Sun Management Center エージェントコンポーネントをインストールおよび設定する

1. 監視対象のプラットフォームにスーパーユーザーでログインします。
2. エージェントが動作中の場合は、以下を入力してサーバーを停止します。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-stop -a
```

3. 一時ディレクトリを作成してその場所に移動します。
次に例を示します。:

```
# mkdir /var/tmp/<temp_directory>  
# cd /var/tmp/<temp_directory>
```

4. プラットフォーム固有のソフトウェアのアーカイブファイル `symon_elsw_<ver>.tar.Z` を、作成したディレクトリにコピーします。
5. ファイルを圧縮解除して `untar` します。
次に例を示します。

```
# zcat ../symon_elsw_<ver>.tar.Z | tar xvf -
```

注 - 正確なファイル名は、ダウンロードしたソフトウェアのリリースによって異なります。

6. `es-inst` コマンドを使用して、Sun Management Center プラットフォームエージェントパッケージを追加します。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-inst

-----
This script installs Sun (TM) Management Center 3.5
-----

Enter the source directory of the installation files:
/var/tmp/<temp_directory>/disk1/image
Installation files source directory: /var/tmp/<temp_directory>/disk1/image

Installation destination directory: /opt

Reading Add-On products from image. Please wait...
This can take approximately 2 minutes to complete.

    Found: ELP Config-Reader Monitoring

Checking for applicable products. Please wait...
This can take approximately 1 minutes to complete.

The following Add-On Products are applicable for installation.
    ELP Config-Reader Monitoring

Select the products you want to install:
    ELP Config-Reader Monitoring (y|n|q) y

The following Add-On Products will be installed:
    ELP Config-Reader Monitoring

Do you want to proceed (y|n|q) y

Disk Space Checking.....

    <truncated>
```

```
You must perform setup before using Sun Management Center 3.5.
Do you want to run setup now (y|n|q) y
-----
This script will help you to setup Sun (TM) Management Center 3.5.
-----

Setting up Addon[s]...
-----
Starting Sun Management Center Entry Level Platform Config Reader Agent Setup
-----

Do you want to start Sun Management Center agent now (y|n|q) n
Use /opt/SUNWsymon/sbin/es-start -a to start Sun Management Center agent.

Setup of Sun Management Center is complete.
Setup logfile is : /var/opt/SUNWsymon/install/setup_enxs07.030701160846.12642

Install logfile is :
/var/opt/SUNWsymon/install/install_enxs07.030701160341.9714

                End of Installation

Exiting Sun Management Center installation.

#
```

注 - Sun Management Center サーバーの名前は、使用する環境に応じて異なります。

7. インストールが完了したら、手順 3 で作成した一時ディレクトリからダウンロードしたファイルを削除し、ディレクトリも削除できます。

▼ Sun Management Center サーバーソフトウェアをインストールする

1. Sun Management Center 3.5 コアパッケージを Sun Management Center サーバーにインストールして設定済みであることを確認します。

Sun Management Center 3.5 サーバーのコアソフトウェアのインストール方法の詳細については、『Sun Management Center 3.5 ソフトウェア インストールガイド』を参照してください。

2. Sun Management Center サーバーにスーパーユーザーでログインします。
3. 一時ディレクトリを作成してその場所に移動します。

次に例を示します。

```
# mkdir /var/tmp/<temp_directory>
# cd /var/tmp/<temp_directory>
```

4. プラットフォーム固有のソフトウェアのアーカイブファイル `symon_elsw_<ver>.tar.Z` を、作成したディレクトリにコピーします。
5. ファイルを圧縮解除して `untar` します。

次に例を示します。

```
# zcat symon_elsw_<ver>.tar.Z | tar xvf -
```

注 – ファイル名は、ダウンロードしたソフトウェアのリリースによって異なります。

6. `es-inst` コマンドを使用して、Sun Management Center プラットフォームサーバーパッケージを追加します。

インストールが完了すると、`es-setup` を実行してソフトウェアを構成するように指示されます。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-inst

-----
This script installs Sun (TM) Management Center 3.5
-----

Enter the source directory of the installation files:
/var/tmp/<temp_directory>/disk1/image
Installation files source directory: /var/tmp/<temp_directory>/disk1/image

Installation destination directory: /opt
```

Reading Add-On products from image. Please wait...
This can take approximately 3 minutes to complete.

Found: ELP Config-Reader Monitoring

Checking for applicable products. Please wait...
This can take approximately 2 minutes to complete.

The following Add-On Products are applicable for installation.
ELP Config-Reader Monitoring

Select the products you want to install:
ELP Config-Reader Monitoring (y|n|q) y

The following Add-On Products will be installed:
ELP Config-Reader Monitoring

Do you want to proceed (y|n|q) y

Disk Space Checking.....

<truncated>

You must perform setup before using Sun Management Center 3.5.
Do you want to run setup now (y|n|q) y

This script will help you to setup Sun (TM) Management Center 3.5.

Setting up Addon[s]...

Starting Sun Management Center Entry Level Platform Config Reader Server Setup

Do you want to start Sun Management Center agent and server components now (y|n|q) y

<truncated>

Java server started successfully.
Grouping service started successfully.
Agent started successfully.
Topology service started successfully.
Trap-handler service started successfully.
Configuration service started successfully.
Event-handler service started successfully.
Metadata Service started successfully.

Web server started successfully.


```
Setup of Sun Management Center is complete.
Setup logfile is : /var/opt/SUNWsymon/install/setup_reboot.030701154003.13541

Install logfile is : /var/opt/SUNWsymon/install/install_reboot.030701153730.11164

                        End of Installation

Exiting Sun Management Center installation.

#
```

7. インストールが完了したら、手順 3 で作成した一時ディレクトリからダウンロードしたファイルを削除し、ディレクトリも削除できます。

エージェント更新イメージの作成とインストール

Sun Fire、Sun Blade、および Netra システム用の追加ソフトウェアでは、Sun Management Center 3.5 で導入されたエージェント更新機能をサポートしています。

エージェント更新イメージの作成方法については、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』(Part No. 817-3019)の第 6 章にある「エージェント更新 (インストール) イメージの作成」を参照してください。

Sun Fire、Sun Blade、および Netra システム用の追加ソフトウェアを含むエージェント更新イメージを作成するには、有効な Sun Management Center 3.5 のソースディレクトリ名を指定するよう指示されたときに、disk1/image ディレクトリのパスを入力します。たとえば、『Sun Management Center 3.5 Sun Fire、Sun Blade および Netra システムのための追補マニュアル』(このマニュアル)の第 2 章に従って追加ソフトウェアをインストールした場合は、インストールのソースディレクトリは次のようになります。

```
/var/tmp/<temp_directory>/disk1/image
```

エージェント更新イメージの適用方法については、『Sun Management Center 3.5 インストールと構成ガイド』の第 6 章にある「エージェント専用インストールイメージ、エージェント更新イメージ、およびパッチ専用イメージの適用」を参照してください。

第3章

物理プロパティと論理プロパティ

Sun Management Center コンソールでは、共通のテーブルとフィールドのセットを使用して、サポート対象のプラットフォームにハードウェア情報を提供します。この章では、テーブル別にクラスとプロパティの簡単な説明を示します。

この章は以下の節で構成されています。

- 30 ページの「システムのプロパティ」
- 31 ページの「物理コンポーネントのプロパティ」
- 38 ページの「論理デバイスのプロパティ」
- 43 ページの「環境センサのプロパティ」

以下のテーブルでは、次の場合に一部のフィールドの表示が“--”または空白になります。

- テーブルまたはフィールドが現在未使用の場合
たとえば、多くの物理コンポーネントにはシリアル番号が存在しないため、対応するテーブルの「シリアル番号」フィールドには“--”が表示されます。その他の共通プロパティでも同様です。
- 通常、フィールドには特定の条件でデータが表示されます。
たとえば、「追加情報」フィールドには、アラーム条件が存在する場合にのみテキスト情報が表示されます。

システムのプロパティ

システム情報テーブルには、システムハードウェアの最上位のビューが含まれます。

表 3-1 システム情報テーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	システムの固定値
マシン	CPU アーキテクチャー (たとえば、Sun4u)
プラットフォーム	プラットフォームのタイプ
総ディスク数	プラットフォームを通じて直接管理されるハードディスクの合計数
総メモリー容量	DIMM メモリの総容量
総テープデバイス数	プラットフォームを通じて直接管理されるテープデバイスの合計数
総プロセッサ数	CPU プロセッサの総数
ホスト名	システムの IP ホスト名
タイムスタンプ	エージェントの起動日時
OS バージョン	システムの OS バージョン
OS リビジョン	OS リビジョン
OBP バージョン	OBP バージョン
モジュールの状態	モジュールの状態

物理コンポーネントのプロパティ

この項で示すテーブルは、システム内の物理コンポーネントのインスタンスを表します。

共通プロパティ

場所テーブル以外のすべての物理コンポーネントは共通のプロパティセットを共有しています。

- 名前
- 場所
- 説明
- モデル名
- 動作状態
- 追加情報
- パーツ番号
- バージョン
- シリアル番号
- 製造元
- ホットスワップ対応
- リムーバブル

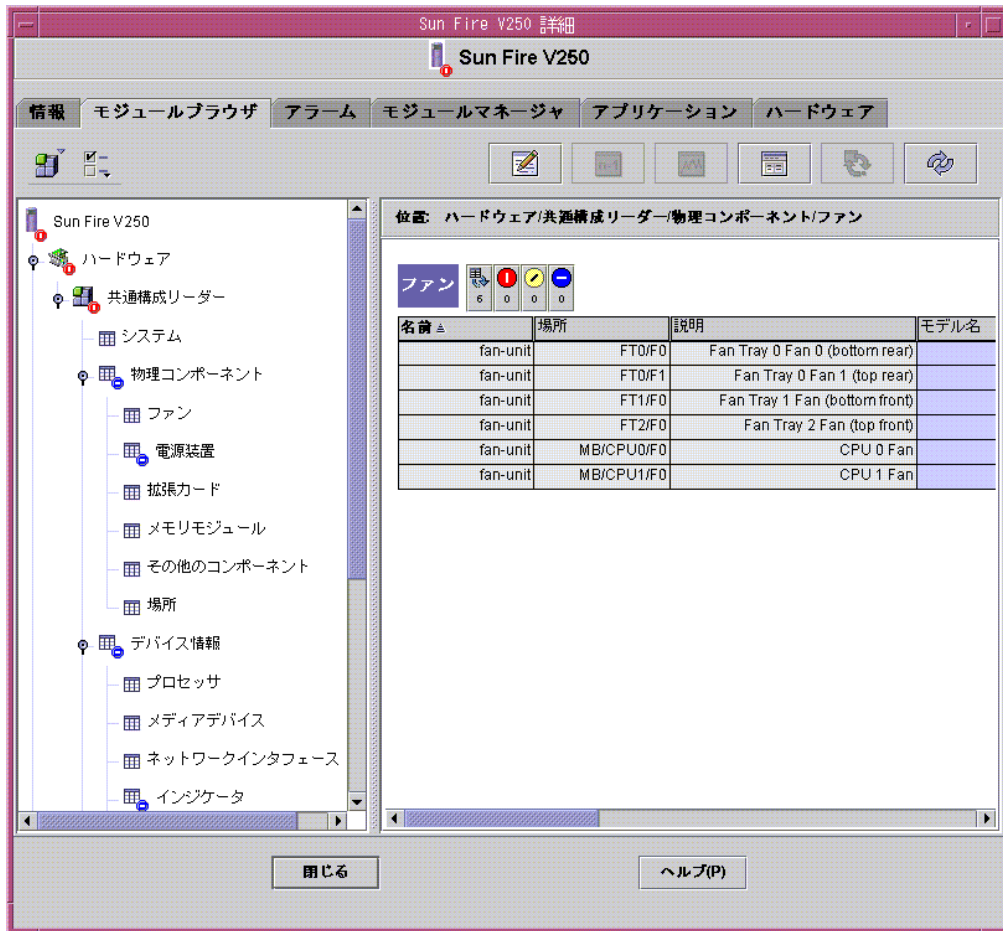


図 3-1 物理コンポーネントの「場所」と「説明」の列 (Sun Fire V250 の場合)

表 3-2 は、「動作状態」プロパティに表示される値を示しています。

表 3-2 動作状態の値

SunMC プロパティ	説明
OK	コンポーネントは正常に動作しています。
Error	コンポーネントでエラーが検出されました。
Degraded	コンポーネントはサービスを提供していますが、機能が低下しています。
Unknown	現在の動作状態が不明です。
Failure Predicted	コンポーネントは正常に動作していますが、障害の発生が予測されています。
Starting	コンポーネントは起動中で、まだオンラインになっていません。
Stopping	コンポーネントは停止中です。
Service	コンポーネントの構成、保守、クリーニング、または管理が実行されています。
Stressed	コンポーネントは動作していますが、注意が必要です。高負荷状態の例として、overloaded (過負荷)、overheated (過熱) などが挙げられます。
Non Recoverable	回復不能なエラーが発生しました。
No Contact	監視システムの現在のインスタンスではこのコンポーネントを認識していますが、一度も接続を確立できていません。
Lost Comms	コンポーネントは認識されており、以前は通信が正常に行われていましたが、現在は接続できません。
Stopped	コンポーネントは認識されており障害も発生していませんが、動作しておらず、ユーザーにサービスを提供できません。つまり、コンポーネントは意図的に機能停止されています。

ファン

表 3-3 ファンテーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
モデル名	Sun Microsystems モデル名
動作状態	コンポーネントの現在の状態
追加情報	現在の動作状態の補足情報
パーツ番号	Sun Microsystems またはその他のパーツ番号
バージョン	パーツのバージョン番号
シリアル番号	パーツのシリアル番号
製造元	業者名
ホットスワップ対応	コンポーネントがホットスワップ対応かどうかを指定するブール値*
リムーバブル	コンポーネントが取り外し可能かどうかを指定するブール値†

* システムを停止せずに交換できるコンポーネントはホットスワップ対応です。

† コンポーネントが取り外し可能なのは、コンポーネントが属するグループが取り外し可能な場合ではなく、コンポーネント自体が取り外し可能な場合です。たとえば、ファントレイ自体は取り外し可能でも、ファントレイ内の個々のファンは取り外し可能でない場合があります。FRU (現場交換可能ユニット) はすべて「リムーバブル」です。

電源装置

表 3-4 電源装置テーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
モデル名	Sun Microsystems モデル
動作状態	コンポーネントの現在の状態
追加情報	現在の動作状態の補足情報
パーツ番号	Sun Microsystems またはその他のパーツ番号

表 3-4 電源装置テーブルのプロパティ (続き)

SunMC プロパティ	説明
バージョン	パーツのバージョン番号
シリアル番号	パーツのシリアル番号
製造元	業者名
ホットスワップ対応	コンポーネントがホットスワップ対応かどうかを指定するブール値
リムーバブル	コンポーネントが取り外し可能かどうかを指定するブール値

拡張カード

このテーブルは、システムに取り付けられているその他の拡張カードを識別します。

表 3-5 拡張カードテーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
モデル名	Sun Microsystems モデル
動作状態	コンポーネントの現在の状態
追加情報	現在の動作状態の補足情報
パーツ番号	Sun Microsystems またはその他のパーツ番号
バージョン	パーツのバージョン番号
シリアル番号	パーツのシリアル番号
製造元	業者名
ホットスワップ対応	コンポーネントがホットスワップ対応かどうかを指定するブール値
リムーバブル	コンポーネントが取り外し可能かどうかを指定するブール値
バスの種類	PCI、cPCI、SCSI などのカードを識別

拡張カードテーブルには、システムに取り付けられている PCI カードに対応する行も含まれています。ハードウェアプラットフォームモジュールの「説明」フィールドにはカードの説明、「モデル名」フィールドには SunStore オプションコンポーネントコード、「パーツ番号」フィールドには Sun Microsystems パーツ番号が表示されます。

付録 A では、現在この情報が表示されるカードの一覧を示しています。ソフトウェアのアップデートに伴って、対象カードは逐次追加されます。

カードにこれらの情報を表示する追加ソフトウェアが設定されていない場合、「説明」、「モデル名」、「パーツ番号」の各フィールドに "--" と表示されます。

メモリモジュール

次の表は、DIMM などの物理メモリコンポーネントを示しています。

表 3-6 メモリモジュールテーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
モデル名	Sun Microsystems モデル
動作状態	コンポーネントの現在の状態
追加情報	現在の動作状態の補足情報
パーツ番号	Sun Microsystems またはその他のパーツ番号
バージョン	パーツのバージョン番号
シリアル番号	パーツのシリアル番号
製造元	業者名
ホットスワップ対応	コンポーネントがホットスワップ対応かどうかを指定するブール値
リムーバブル	コンポーネントが取り外し可能かどうかを指定するブール値
サイズ	DIMM サイズ
バンクラベル	現在のコンポーネントに関連付けられた物理ラベル*
ECC エラーカウント	このコンポーネントについて記録された ECC エラーカウントの数

* この文字列は、Solaris 論理バンクの番号付けではなくメモリ位置の物理ラベル付けに関連します。

その他の物理コンポーネント

このテーブルは、上記以外のすべての物理コンポーネントに使用されます。

表 3-7 その他の物理コンポーネントテーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
モデル名	Sun Microsystems モデル
動作状態	コンポーネントの現在の状態
追加情報	現在の動作状態の補足情報
パーツ番号	Sun Microsystems またはその他のパーツ番号
バージョン	パーツのバージョン番号
シリアル番号	パーツのシリアル番号
製造元	業者名
ホットスワップ対応	コンポーネントがホットスワップ対応かどうかを指定するブール値
リムーバブル	コンポーネントが取り外し可能かどうかを指定するブール値

場所

場所テーブルは、コンポーネントを (ホット) プラグ可能なスロットを表します。

表 3-8 その他の物理コンポーネントテーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
場所の種類	場所を占有するコンポーネントの種類を指定
占有状態	使用可能な値は、unknown (不明)、occupied (占有) または empty (空)

論理デバイスのプロパティ

デバイスは論理デバイスを表します。たとえば、CPU モジュールには 1 つ以上のプロセッサが含まれる可能性があるため、CPU モジュールは物理コンポーネントとして表されますが、モジュール内のプロセッサは論理デバイスとして表されます。以下のテーブルに、共通モデルに含まれる論理デバイスを示します。

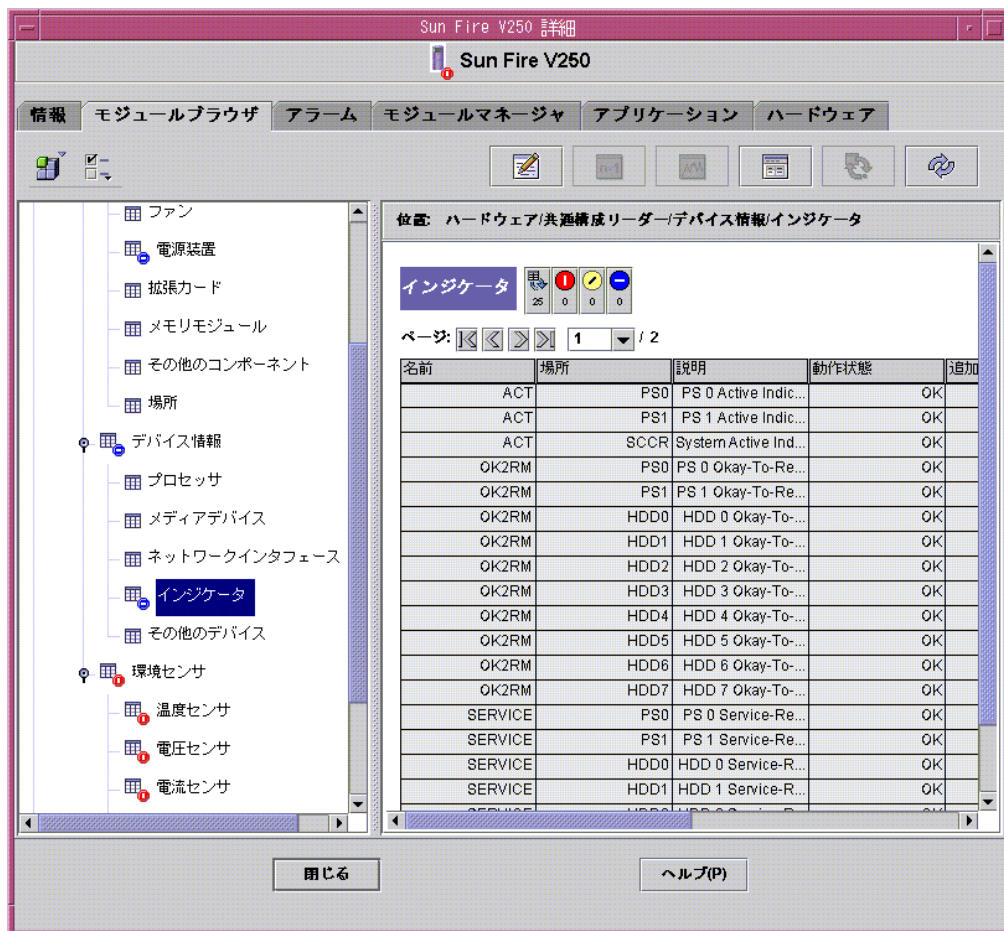


図 3-2 インジケータを表す論理デバイステーブルの一部 (Sun Fire V250 の場合)

論理デバイスでは、「可用性」プロパティを使用します。可用性の値は次のとおりです。

- Other
- Unknown
- Running/Full Power
- Warning
- In Test
- Not Applicable
- Power Off
- Off Line
- Off Duty
- Degraded
- Not Installed
- Install Error
- Power Save - Unknown
- Power Save - Low Power Mode
- Power Save - Standby
- Power Cycle
- Power Save - Warning
- Paused
- Not Ready
- Not Configured
- Quiesced

また、論理デバイスでは、「冗長性ステータス」プロパティも使用します。冗長性グループに属するデバイスの場合、このプロパティはこのコンポーネントの現在の役割を示します。たとえば、サービスプロセッサは別のサービスプロセッサのアクティブ/スタンバイペアとして動作する場合があります。同様に、ネットワークインタフェースは冗長なネットワークペアのプライマリメンバーまたはセカンダリメンバーになる場合があります。「冗長性ステータス」の有効な値は次のとおりです。

- Not Applicable
- Unknown
- Active
- Standby
- Primary
- Secondary
- Other

プロセッサ

表 3-9 プロセッサテーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	デバイスの簡単な説明
動作状態	デバイスの現在の状態
追加情報	現在の動作状態の補足情報
可用性	デバイスの可用性
冗長性ステータス	冗長性グループに属するデバイスの状態
デバイス ID	さまざまな Solaris コマンドで使用される数値の ID
クロック周波数	プロセッサクロックの速度
ファミリ	プロセッサファミリ (たとえば、sparcv9)
データキャッシュ サイズ	プライマリデータキャッシュのサイズ
命令キャッシュサイズ	プライマリ命令キャッシュのサイズ
レベル 2 キャッシュ サイズ	レベル 2 キャッシュのサイズ

メディアデバイス

このテーブルは、すべてのメディアデバイス (ディスク、CD-ROM、DVD-ROM、テープなど) を表します。

表 3-10 メディアデバイステーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	デバイスの簡単な説明
動作状態	デバイスの現在の状態
追加情報	現在の動作状態の補足情報
可用性	デバイスの可用性

表 3-10 メディアデバイステーブルのプロパティ (続き)

SunMC プロパティ	説明
冗長性ステータス	冗長性グループに属するデバイスの状態
物理バス	/dev/rdisk または /dev/rmt の下位のメディアアクセスデバイスのバス
タイプ	ディスク、CD-ROM、DVD-ROM、テープ
ハードエラーカウント	iostat -e を使用して取得できるハードデバイスエラーの数
ソフトエラーカウント	iostat -e を使用して取得可能
トランスポートエラー カウント	iostat -e を使用して取得可能

ネットワークインタフェース

表 3-11 ネットワークインタフェーステーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のバス
説明	デバイスの簡単な説明
動作状態	デバイスの現在の状態
追加情報	現在の動作状態の補足情報
可用性	デバイスの可用性 (offline、online)
冗長性ステータス	冗長性グループに属するデバイスの状態
デバイス ID	/devices の下位のネットワークデバイスのバス
速度	bps 単位の速度
固定アドレス	MAC アドレス
ネットワークアドレス	IP アドレス
シンボル名	この IP アドレスに関連付けられたシンボリックネットワークまたはホスト名
入力エラーカウント	kstat を使用して取得できる入力エラーカウント
出力エラーカウント	kstat を使用して取得できる出力エラーカウント

インジケータ

表 3-12 インジケータテーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
動作状態	デバイスの現在の状態
追加情報	現在の動作状態の補足情報
インジケータ状態	STEADY、OFF、ALTERNATING、または UNKNOWN
予期されている状態	STEADY、OFF、または ALTERNATING
色	インジケータの色

その他のデバイス

このテーブルは、上記以外のすべての論理デバイスに使用されます。

表 3-13 その他のデバイステーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
動作状態	コンポーネントの現在の状態
追加情報	現在の動作状態の補足情報
可用性	デバイスの可用性 (offline、online)
冗長性ステータス	冗長性グループに属するデバイスの状態
デバイス ID	/devices の下位のデバイスのパス

環境センサのプロパティ

環境センサは、ファン速度 (タコメータ)、温度、電流および電圧用にモデル化されています。次の 2 種類のセンサがサポートされています。

- 数値
- 非数値

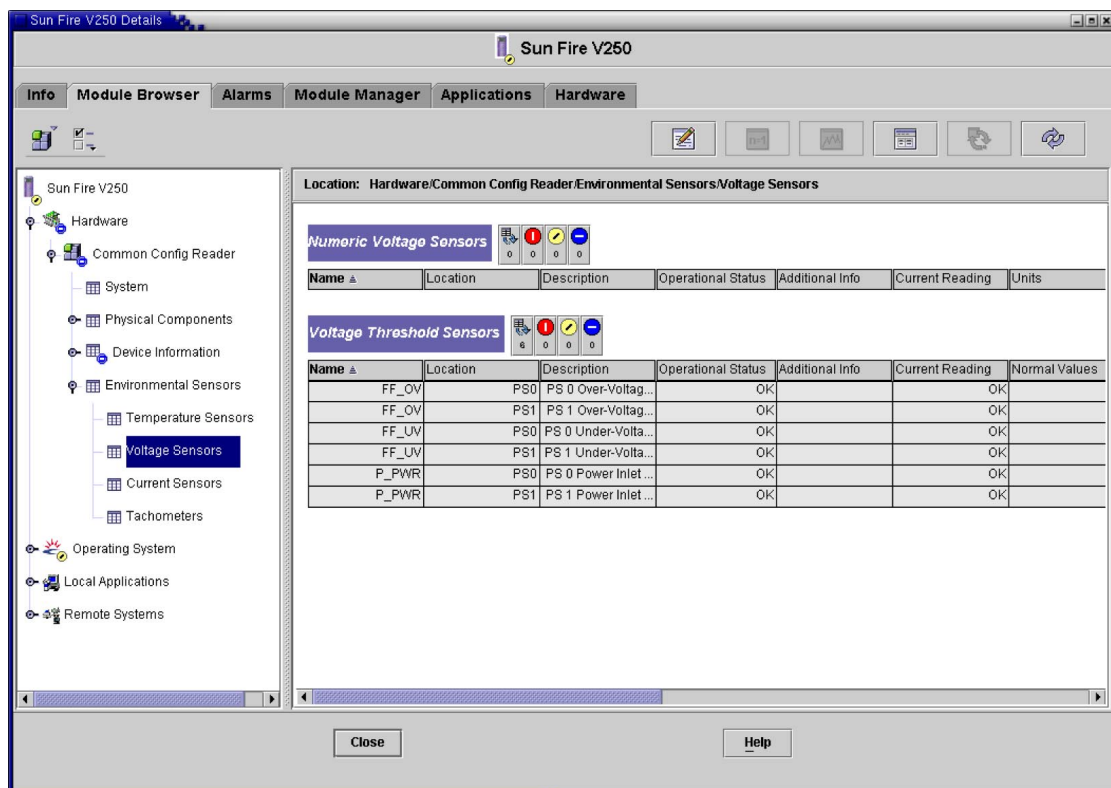


図 3-3 数値電圧センサテーブルと電圧しきい値センサテーブル (Sun Fire V250 の場合)

数値センサ

表 3-14 は、数値センサのプロパティを示しています。

表 3-14 数値センサテーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
動作状態	コンポーネントの現在の状態
追加情報	動作状態の補足情報
現在の値	センサの現在の値
単位	値の単位
注意しきい値下限	最初の警告しきい値の下限
注意しきい値上限	最初の警告しきい値の上限
重大しきい値下限	2 番目の警告しきい値の下限
重大しきい値上限	2 番目の警告しきい値の上限
致命的しきい値下限	最後の警告しきい値の下限
致命的しきい値上限	最後の警告しきい値の上限

非数値センサ

表 3-15 は、非数値センサのプロパティを示しています。

表 3-15 非数値センサテーブルのプロパティ

SunMC プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
動作状態	コンポーネントの現在の状態

表 3-15 非数値センサテーブルのプロパティ (続き)

SunMC プロパティ	説明
追加情報	動作状態の補足情報
現在の値	センサの現在の値
通常値	このセンサが正常とみなされる値のリスト

第4章

アラーム

この章では、サポート対象のプラットフォームコンポーネント固有のアラーム規則について説明します。

この章は以下の節で構成されています。

- 47 ページの「概要」
- 48 ページの「動作状態の規則」
- 49 ページの「可用性の規則」
- 49 ページの「非数値センサの規則」
- 50 ページの「数値センサのしきい値の規則」
- 50 ページの「占有状態の規則」
- 51 ページの「率またはカウントの規則」
- 51 ページの「モジュールのステータスの規則」
- 52 ページの「インジケータ状態の規則」

概要

ハードウェア共通の構成リーダーには、さまざまなコンポーネントの状態を判断するためにシステムが使用するいくつかのアラーム規則が含まれています。アラーム規則の各インスタンスは、構成リーダーにあるテーブルの特定のプロパティに適用されます。同じ規則が複数のプロパティやテーブルに適用される場合もあります。

アラーム規則は、次の3つのメインソースからの入力を受け入れます。

- 構成リーダー内のオブジェクトのプロパティ
- ユーザー指定値
- 規則自体が保存したデータ

これら3つのソースはすべて、オブジェクトやプロパティごとに個別に変更できます。ユーザーはユーザー指定値を変更できます。一方、規則の作成者は、どのオブジェクトのプロパティや保存データを使用するかを指定します。

Sun Management Center コンソールを通じて、規則の状態と状態の変化にアクションを割り当てることができます (『Sun Management 3.5 Center ソフトウェア ユーザーマニュアル』の第 9 章および第 12 章を参照)。

動作状態の規則

この規則は、「動作状態」プロパティを含む任意のノードに適用されます。動作状態が OK、Starting または Stopping (いずれも正常な動作状態) 以外になるとアラームを生成します。エンドユーザーに追加情報を提供するため、エラー文字列には「追加情報」プロパティの値が組み込まれています。

表 4-1 動作状態の規則

規則プロパティ	詳細
適用可能なテーブル	「動作状態」プロパティを含む任意のテーブル
読み取るプロパティ	「動作状態」、「追加情報」
アラームの生成	「動作状態」が OK、Starting または Stopping 以外の場合
編集可能なパラメタ	次の 4 つの各「動作状態」値グループの「アラーム重要度」 <ul style="list-style-type: none">• Error (エラー)、Non-Recoverable (回復不能)• Degraded (機能低下)、Predicted Failure (障害予測)、Stressed (高負荷)• Unknown (不明)、Lost Comms (通信遮断)、No Contact (接続不能)• Service (サービス)、Stopped (停止)

可用性の規則

この規則は、「可用性」プロパティを持つ任意のテーブルに適用できます。

表 4-2 可用性の規則

規則プロパティ	詳細
適用可能なテーブル	「可用性」プロパティを含む任意のテーブル
読み取るプロパティ	可用性
アラームの生成	「可用性」が Running (実行中)、または Not Applicable (適用外) 以外の場合
編集可能なパラメタ	次の 3 つの各「可用性」値グループの「アラーム重要度」 <ul style="list-style-type: none">• Degraded (機能低下)、Warning (警告)、Power Save - Warning (省電力 - 警告)、Install Error (インストールエラー)• Not Configured (未構成)、Not Installed (未インストール)、Not Ready (準備未完了)• In Test (テスト中)、Off Duty (非稼働)、Off Line (オフライン)、Paused (一時停止)、Quiesced (休止)、Power Cycle (電源再投入)、Power Off (電源切断)、Power Save - Low Power Mode (省電力 - 低電力モード)、Power Save - Standby (省電力 - スタンバイ)、Power Save - Unknown (省電力 - 不明)

非数値センサの規則

この規則は、数値センサ以外の任意のセンサに適用されます。この規則では、エラーメッセージの「現在の値」を使用します。

表 4-3 非数値センサの規則

規則プロパティ	詳細
適用可能なテーブル	数値センサ以外の温度センサ、電圧センサおよび電流センサ
読み取るプロパティ	「現在の値」、通常の値
アラームの生成	「現在の値」が通常の値以外の場合
編集可能なパラメタ	アラーム重要度

数値センサのしきい値の規則

この規則は、任意の数値センサに適用されます。センサに表示されるさまざまなしきい値を読み取り、現在の値が指定範囲外の場合にアラームを生成します。

表 4-4 数値センサのしきい値の規則

規則プロパティ	詳細
適用可能なテーブル	数値温度センサ、電圧センサおよび電流センサ、タコメータ
読み取るプロパティ	「現在の値」、しきい値
アラームの生成	「現在の値」がしきい値の範囲外の場合
編集可能なパラメタ	注意、重大、致命的の各しきい値に対する「アラーム重要度」

占有状態の規則

この規則は、ある場所の占有状態が変わるとアラームを生成します。

表 4-5 占有状態の規則

規則プロパティ	詳細
適用可能なテーブル	場所
読み取るプロパティ	「名前」、「占有状態」
アラームの生成	占有状態が変化した場合
編集可能なパラメタ	アラーム重要度

注 – このアラームは、Sun Management Center コンソールで確認応答するとクリアできます。その他すべてのアラームは、状態が変化するとクリアされます。

率またはカウントの規則

この規則では、任意の整数プロパティに対して率またはカウントを指定できます。率またはカウントが指定された値を超えると、アラームが生成されます。エラー数をカウントするすべてのプロパティに対してこの規則を割り当てると、必要に応じたアラームを生成できます。

表 4-6 率またはカウントの規則

規則プロパティ	詳細
適用可能なテーブル	整数プロパティを持つ任意のテーブル
読み取るプロパティ	「エラーカウント」および同様の整数プロパティ
アラームの生成	「率」または「カウント」がユーザー指定値を超える場合
編集可能なパラメタ	「率」、「カウント」および「アラーム重要度」

モジュールのステータスの規則

この規則は、システムオブジェクトの「モジュールのステータス」プロパティにのみ適用します。主に、モジュールのデータ収集の問題を報告するために使用されます。

表 4-7 モジュールのステータスの規則

規則プロパティ	詳細
適用可能なテーブル	システム
読み取るプロパティ	「モジュールのステータス」、「モジュールのステータスの重要度」
アラームの生成	「状態」が OK 以外の場合
編集可能なパラメタ	「モジュールのステータスの重要度」の Information (情報)、Warning (警告) および Error (エラー) の各レベルに対して、アラーム重要度の割り当てが可能

インジケータ状態の規則

この規則は、インジケータオブジェクトの「Indicator Alarm Status」プロパティにのみ適用されます。

表 4-8 インジケータ状態の規則

規則プロパティ	詳細
適用可能なテーブル	インジケータ
読み取るプロパティ	「インジケータ状態」、「予期されている状態」
アラームの生成	「状態」が「予期されている状態」以外の場合
編集可能なパラメタ	アラーム重要度

付録 A

PCI カード

拡張カードテーブルには、システムに取り付けられている PCI カードに対応する行も含まれています。ハードウェアプラットフォームモジュールの「説明」フィールドにはカードの説明、「モデル名」フィールドには SunStore オプションコンポーネントコード、「パーツ番号」フィールドには Sun Microsystems パーツ番号が表示されます。

カードにこれらの情報を表示する追加ソフトウェアが設定されていない場合は、「説明」、「モデル名」、「パーツ番号」の各フィールドに "--" と表示されます。

表 A-1 は、カードの説明、SunStore オプションコンポーネントコード、および Sun Microsystems パーツ番号が表示されるカードの一覧を示しています。システムでこれらの PCI カードのどれを使用できるかについては、プラットフォーム用のマニュアルを参照してください。

表 A-1 サポートされる PCI カード

PCI カード	Sun パーツ番号	オプション コンポーネント 番号
Dual-Channel Differential UltraSCSI PCI Host Adapter	375-0006	X6541A
Dual-Channel Ultra3 Differential SCSI PCI Host Adapter	375-3057	X6758A
Sun High-Speed Serial Interface PCI Adapter 2.0	370-2728	X1155A
Sun Serial Asynchronous Interface PCI Adapter 3.0	375-0100	X2156A
Sun FastEthernet 10/100BaseT PCI Adapter 2.0	501-5019	X1033A
Sun Quad FastEthernet PCI Card (QFE)	501-5406	X1034A
Sun GigaSwift Ethernet UTP PCI Adapter	501-5902	X1150A
Sun GigaSwift Ethernet MMF PCI Adapter	501-5524	X1151A

表 A-1 サポートされる PCI カード (続き)

PCI カード	Sun パーツ番号	オプション コンポーネント 番号
SunATM 155/MFiber PCI Adapter 4.0	501-3028	X1157A
SunATM 155/UTP PCI Adapter 4.0	501-3027	X1158A
SunATM 622/MFiber PCI Adapter 4.0	501-3029	X1159A
Single Fibre Channel PCI Network Adapter	375-3019	X6799A
Dual Fibre Channel PCI Network Adapter	375-3030	X6727A
SunSwift 10/100BaseT Fast/Wide UltraSCSI PCI Adapter	501-5656	X1032A
Dual Fast Ethernet + Dual SCSI PCI Adapter	501-5727	X2222A
PGX-128 Colour Graphics Card	375-3126	X3769A
Dual Fibre Channel 2 Gb PCI Network Adapter	375-3108	X6768A
SunPCi II Pro Co-Processor Card	375-3051	X2132A
Sun PCi III Pro Co-Processor Card	605-4654	X2134A
Sun Crypto Accelerator 100 Card	未定	X6762A

プラットフォーム固有の情報

表 B-1 は、監視対象システムおよび Sun Management Center サーバーにインストールする一般的なパッケージを示しています。

以下の節では、この製品のソフトウェアパッケージに関するプラットフォーム固有の情報を示し、サポート対象のプラットフォームごとに関連するシステムマニュアルを示します。

- 56 ページの「Sun Fire V210 および V240 サーバー」
- 57 ページの「Sun Fire V250 サーバー」
- 57 ページの「Sun Fire V440 サーバー」
- 58 ページの「Sun Blade 1500 および 2500 ワークステーション」

ディスク容量の最小要件など、Sun Management Center 3.5 の一般的な必要条件については、『Sun Management Center 3.5 ソフトウェア インストールガイド』を参照してください。

表 B-1 共通ハードウェアプラットフォームモジュールパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWesccli	SunMC Common Config Reader Module Initialization	サーバー および エージェント
SUNWesccls	SunMC 共通構成リーダーモジュールのサーバーコア コンポーネント	サーバー
SUNWesccla	SunMC 共通構成リーダーモジュールのエージェントコア コンポーネント	エージェント
SUNWescdla	SunMC 共通構成リーダーモジュールの DAQ コンポーネント	エージェント
SUNWescdl	SunMC 共通構成リーダーの DAQ ライブラリ	エージェント

Sun Fire V210 および V240 サーバー

表 B-2 は、Sun Fire V210 および V240 のサーバーコンポーネントとエージェントコンポーネントを示しています。

表 B-2 Sun Fire V210 および V240 のプラットフォーム固有のパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWescps	SunMC 共通構成リーダーモジュール Sun Fire V210/V240 サーバーコンポーネント	サーバー
SUNWescpa	SunMC 共通構成リーダーモジュール Sun Fire V210/V240 エージェントコンポーネント	エージェント
SUNWescpl	共通構成リーダーモジュール Sun Fire V210/V240 プラットフォームをサポート	エージェント

関連マニュアル

Sun Fire V210 および V240 サーバーの詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- 『Sun Fire V210 および V240 サーバー設置マニュアル』 (Part No. 817-1431)
- 『Sun Fire V210 および V240 サーバー管理マニュアル』 (Part No. 817-1441)

Sun Fire V250 サーバー

表 B-3 は、Sun Fire V250 のサーバーコンポーネントとエージェントコンポーネントを示しています。

表 B-3 Sun Fire V250 のプラットフォーム固有のパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWescfs	SunMC 共通構成リーダーモジュール Sun Fire V250 サーバーコンポーネント	サーバー
SUNWescfa	SunMC 共通構成リーダーモジュール Sun Fire V250 エージェントコンポーネント	エージェント
SUNWescfl	共通構成リーダーモジュール Sun Fire V250 プラットフォームをサポート	エージェント

関連マニュアル

Sun Fire V250 サーバーの詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- 『Sun Fire V250 Server Installation Guide』 (Part No. 817-0899)
- 『Sun Fire V250 Server Administration Guide』 (Part No. 817-0900)

Sun Fire V440 サーバー

表 B-4 は、Sun Fire V440 のサーバーコンポーネントとエージェントコンポーネントを示しています。

表 B-4 Sun Fire V440 のプラットフォーム固有のパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWeschs	SunMC 共通構成リーダーモジュール Sun Fire V440 サーバーコンポーネント	サーバー
SUNWescha	SunMC 共通構成リーダーモジュール Sun Fire V440 エージェントコンポーネント	エージェント
SUNWeschl	共通構成リーダーモジュール Sun Fire V440 プラットフォームをサポート	エージェント

関連マニュアル

Sun Fire V440 サーバーの詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- 『Sun Fire V440 Server Installation Guide』 (Part No. 816-7727)
- 『Sun Fire V440 Server Administration Guide』 (Part No. 816-7728)
- 『Sun Fire V440 Server Diagnostics and Troubleshooting Guide』 (Part No. 816-7730)

Sun Blade 1500 および 2500 ワークステーション

表 B-5 は、Sun Blade 1500 および 2500 のサーバーコンポーネントとエージェントコンポーネントを示しています。

表 B-5 Sun Blade 1500 および 2500 のプラットフォーム固有のパッケージ

パッケージ	説明
SUNWescws	SunMC 共通構成リーダーモジュール Sun Blade 1500/2500 サーバープラットフォームコンポーネント
SUNWescwa	SunMC 共通構成リーダーモジュール Sun Blade 1500/2500 エージェントプラットフォームコンポーネント

関連マニュアル

Sun Blade 1500 および 2500 ワークステーションの詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- 『Sun Blade 1500 ご使用にあたって』 (Part No. 817-0785)
- 『Sun Blade 1500 Service, Diagnostics and Troubleshooting Manual』 (Part No. 816-7564)
- 『Sun Blade 2500 ご使用にあたって』 (Part No. 817-0623)
- 『Sun Blade 2500 Service, Diagnostics and Troubleshooting Manual』 (Part No. 816-0996)

索引

E

es-guiinst, 15
es-inst コマンド, 23, 25
es-setup コマンド, 25
es-stop コマンド, 22

G

GUI インストール機能, 15
GUI 設定, 15

S

Sun Management Center
GUI, 3
Web サイト, 11
コアコンポーネント, 11
Sun Management Center 3.0 コアコンポーネント
, 11

あ

アラーム規則, 10, 47

い

インジケータテーブル, 42

インストール手順
GUI インストール機能, 15
GUI 設定, 15
コアパッケージ, 15

え

エージェント
停止, 22
エージェント更新, 27

か

拡張カードテーブル, 35
「可用性」プロパティの値, 39
簡易ネットワーク管理プロトコル, 1
環境センサ, 6

き

規則
インジケータ状態, 52
カウント, 51
可用性, 49
数値センサのしきい値, 50
占有状態, 50
動作状態, 48
非数値センサ, 49

モジュールのステータス, 51
率, 51

共通プロパティ, 31

く

グラフィカルユーザーインターフェース, 3

け

現場交換可能ユニット, 34

こ

コマンド

es-inst, 23, 25

es-setup, 25

es-stopes-stop, 22

さ

削除、ソフトウェア, 18

サポート対象のプラットフォーム, 2

し

システムオブジェクト, 6

システム情報テーブル, 30

詳細ビューア, 3

「冗長性ステータス」プロパティの値, 39

す

数値センサテーブル, 44

そ

その他のデバイステーブル, 42

その他の物理コンポーネントテーブル, 37

ソフトウェア

インストール, 15, 22, 25

共通追加パッケージ, 55

削除, 18

設定, 22, 25

ダウンロード Web サイト, 13

プラットフォーム固有のパッケージ, 56, 57, 58
要件, 12

ソフトウェアのインストール, 15, 22, 25

ソフトウェアの設定, 22, 25

て

テーブル, 4

インジケータ, 42

拡張カード, 35

システム情報, 30

数値センサ, 44

その他のデバイス, 42

その他の物理コンポーネント, 37

デバイス, 40

電源装置, 34

ネットワークインターフェース, 41

場所, 37

ファン, 34

メディアデバイス, 40

メモリモジュール, 36

デバイステーブル, 40

電源装置テーブル, 34

と

動作状態, 33

ね

ネットワークインターフェーステーブル, 41

は

ハードウェア, 30

場所テーブル, 37

パッケージ

コアパッケージのアップデート, 15

ふ

ファンテーブル, 34

物理コンポーネント, 5, 38

物理コンポーネントテーブル, 7

物理的な包含階層, 6

物理ビュー, 7

ブラウザ, 4

プロパティ, 47

インジケータ, 42

拡張カード, 35

環境センサ, 43

共通, 5, 31

システム情報, 30

数値センサ, 44

その他のデバイス, 42

その他の物理コンポーネント, 37

デバイス, 40

電源装置, 34

ネットワークインタフェース, 41

場所, 37

ファン, 34

物理コンポーネント, 31

メディアデバイス, 40

メモリモジュール, 36

ま

マニュアル

Sun Fire V210 および V240, 56

め

メディアデバイステーブル, 40

メディアエータの停止, 22

メモリモジュールテーブル, 36

ろ

論理コンポーネントテーブル, 7

論理デバイス, 6, 38

プロパティ, 38

論理ビュー, 6

